

委員会名	自己点検者（委員長名）	①当該年度の活動内容の概要 （箇条書きで良く、参考資料は不要）	②委員会内での自己評価と問題点の抽出 （箇条書きで良く、参考資料は不要）	③次年度の改善方策 （箇条書きで良く、参考資料は不要）
進路就職支援委員会	進路就職支援委員長（杉山重夫）	<p>①年間64件に及び学年学科に合った進路就職ガイダンス等を企画し、実践した。以下に例を挙げた。薬系キャリアコンサルタント講演会、大学院進学についての講演会、WEB選考対策講座、応募書類（履歴書・ES）書き方講座、筆記試験のポイント解説講座、公務員試験対策講座、SPI対策集中講座、就職活動体験発表会、5大学共同企画製薬企業理解セミナー、会社・職種研究セミナー、キャリア教育 卒業生招聘プログラム 特別講演、WEB合同セミナー（企業および行政機関）、WEB合同セミナー（病院・保険薬局・ドラッグストア）</p> <p>②2021年度卒業生進路決定状況報告を集計し、今後の進路支援を検討した。</p> <p>昨年、一昨年の開講は中止とした大学推薦インターンシップ（自由選択科目）を本年度は開講し、マナー講座やインターンシップ説明会等の関連ガイダンスも行う。</p> <p>③昨年実施した「企業人事アンケート」をまとめ、「教育活動等の改善のための卒業生就職先アンケート」として本学ホームページに掲載する。</p> <p>④8月に「卒後3年調査アンケート」を実施し、集計後、名称を「教育活動等の改善のための卒業生アンケート」に変更した上で、本学ホームページに年度内に公開する。</p> <p>⑤「明薬次世代ネットワークの集い」を本学OB、OGの病院薬剤師（37病院47名）による本学学生（64名）への職場紹介と交流の場として開催した。</p> <p>⑥令和5年度事業計画並びに2023年度 予算概算請求について検討した。</p>	<p>①企画した進路就職ガイダンス等は順調に実践することができたが、更なる参加率向上を目指す。</p> <p>②コロナ禍でのインターンシップ（自由選択科目）報告会の実施は困難であるため、代替としてレポートを提出させ、これにより単位を認定する。</p> <p>③病院就職者の減少を抑える。</p> <p>④アンケートの回答率を向上させる。</p>	<p>①就職に敏感な学年は実務実習等で多忙な時期でもあるので、この学年向けの進路就職ガイダンス等は、より適切な時期に開催する。</p> <p>②インターンシップ（自由選択科目）報告会については、内容を考慮すると録画等ができない対面での開催がのぞましい。</p> <p>③病院就職者の減少を抑えるための方策の一つとして「明薬次世代ネットワークの集い」で病院薬剤師から学生への情報交換を実施した。今後も回を重ね、病院薬剤師としての就職者を向上させたい。</p> <p>④アンケートの回数率においては、手軽に回答できる方法を採用したい。</p>